

議会運営委員会会議録

- 1 日 時 令和5年9月15日(金)
会議時間 10時28分開会 11時47分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：橋本晃明(欠席)
委員：只野敏彦、川上均、中河つる子、深沼達生
議長：山下清美
- 4 事務局 事務局長：大尾 智、次長兼総務係長：川口二郎
- 5 議 件
(1) 議会報告会と町民との意見交換会について
(2) 議会活性化について
(3) その他
- 6 会議内容 別紙のとおり

【開会 10:28】

(1) 議会報告会と町民との意見交換会について

副委員長（只野敏彦）：橋本委員長が病気ということで欠席となったので、副委員長である私が議事進行させていただく。よろしく願います。早速、これより議会運営委員会を開催する。まず、議会報告会と町民との意見交換会について、事務局より説明願う。

事務局長（大尾 智）：前回の委員会の時に、いわゆるファシリテーターというかグループディスカッションをやる時の進行役というか、その辺の研修が必要ではないかということで、芽室町を前回伺った時にそのようなお話しもお聞きしているので、ぜひ勉強させていただけないかということで事務局に伺った。それで、議運の委員長と副委員長が対応していただけるというところまでは話ができている。その中で、こちらとしてファシリテーター的な部分を勉強したいとお話ししたところ、資料で配っているけれども、昨年、芽室町で講師を招いて研修会を行った時の、青森大学の教授をお招きして研修をやった時の第1部の講演会の時に使った資料を送っていただいた。後でちょっと目を通していただきたいと思うけれども、こういう中身について芽室町で勉強しているということなので、そこで学んだことをうちの方にも教えていただくことは可能だということであった。

副委員長：何か質問、ご意見あれば願います。

（「なし」との声あり）

副委員長：それで、10月13日に行くかどうかという話になる。

事務局長：それで、なかなか向こうの方に来ていただいてというのも予定や都合もあるのでという話をしたら、芽室町の事務局から、13日に西部4町の交流会があるので、その前段の午前中であれば委員長、副委員長が対応できるので、そこでお話しすることは可能であるということでお話しをいただいた。それであればそこで聞いて勉強させていただきたいという話まではしている。あとは、先に議運の委員が行って勉強して他の議員に伝えるのか、全員来れる方については早めに行って皆で聞いて、当日、グループディスカッションのファシリテーターを務めるのは議運の委員だと思うけれども、中身的に全員知っておいてもらいたいという話も前

回あったので、その辺をどうするかお話しいただければと思う。

副委員長：今、事務局長から説明があったけれども、10月13日午前、その後の4町の議員研修会の前に芽室町で行うと、そこで、できれば全員で行った方がいいのではないかと、その点について何かご意見、ご質問あれば。

川上委員：今、お話あったように、せっかく芽室町で13日、全員で4町の研修会があるので、前段でやるのであれば全員で行って、今後のこともあるので、我々議運のメンバーだけではなくて、全員で研修を受けながら少しでも身になるような形を作った方がいいのではないかと思います。

中河委員：私もせっかくそういう機会を芽室町の議会で設けてくれるということなので、全員で行った方が勉強になると思う。

深沼委員：快く芽室町の議員の方が引き受けてくれるということなので、いい機会なので、話は全員にした中でやった方がいいと思う。

副委員長：全員で行った方がいいという意見なので、そのような方向で。

事務局長：まだ正式な返事はしていないけれども、この後、今言った方向で確認する。

川上委員：それでは、一回全員協議会をやって確認をしなければならないと思う。それであれば21日に本会議終わった後に確認してもらった方がいいのではないかと思います。

副委員長：それではそのような方向でよろしいか。暫時休憩する。

【休憩 10：36】

【再開 10：52】

副委員長：休憩前に引き続き会議を開く。それでは、10月13日、午前は議会運営委員会としては議員全員で行くと、派遣ということなのでレンタカーを出して、皆で芽室町役場に行くということで、帰りはJRでという形になると思うけれども、そういう形でよろしいか。

川上委員：基本的には午前中に行き帰ってくるということでいいと思う。

副委員長：午前中に行き帰ってくるということでお願いします。あと、21日の全員協議会に今の議題を提出するということであるが、9時15分に議場で全員協議会を行う

ということによろしいか。

(「はい」との声あり)

副委員長：続いて、グループディスカッションのテーマについて事務局より説明願う。

事務局長：グループディスカッションのテーマは前に何度か協議していただいた中で出てきたのが、議員定数と報酬の部分と女性議員の登用のところと、フリーに議会に対してのご意見というのも含めて、3つくらいのテーマでやっていいのかどうかというのを改めて固めていただきたいのと、やり方としてテーマごとにテーブルを移動するよりも、テーブルを分かれて、例えば20分くらいずつテーマが3つあるので、ディスカッションの時間を1時間、同じテーブルの中で話していただくのがいいのか、移動するとなるとその都度時間がかかったりするので、決めていただきたいと思います。

副委員長：テーマをどうするかというのと、時間配分をどうするかというところであるが、私に言わせてもらえば、今日は橋本委員長がいないので、芽室行って勉強したことを受けて我々もやると思うので、委員長がいる時に決めた方がいいのではないかなと思うが。

事務局長：テーマはあらかじめ出した方がいいのではないかなという気がする、というのは、周知していかなければならないので、研修が13日なので、その後となると住民周知との兼ね合いで例えば、10月初めくらいにはチラシ等でお知らせした方がいいという気はしている。13日以降で改めてテーマとなると、事前のお知らせのところにテーマを入れられないことになる。例えば、今月中に議運をやるというのであればまだ時間はある。

副委員長：それでは意見をいただいたけれども、皆さんから何かあれば。

事務局長：21日に議友会とのパークゴルフが午後2時からなので、1時くらいまでに終われば。

副委員長：それでは、21日、本会議終了後に議運を開催してテーマについて話し合うということによろしいか。

(「はい」との声あり)

副委員長：今後の予定としては今言われた形で、あと、芽室に行った後に事前学習をしな

ければならない、13日と25日の間にやらなければならないということ、やることは時間配分をどうするか、テーマをどうするかということ。

事務局長：シミュレーションをやってみるとかも必要かと思う。配置も含めてやった方がいいのではないか、ぶっつけ本番で向かうよりは。今まではリハーサルのようなものはやっていかなかったのだろうか。

深沼委員：今までは町民と議運と総務産業と厚生文教の委員長が前に並んで、そして議員を清水と御影で半分半分に分けていた。

事務局長：全員で2日間臨むのかも含めてまだ具体のことが決まっていないので、その辺も含めてリハーサル的な事も必要だと思う。

副委員長：リハーサルはやったほうがいいと思うがどうか。議運だけでやるかどうか、やると言っても事務局がスケジュール的に空いているかどうか。模擬議会の後に事前学習というかりハーサルを議運としてやるということによろしいか。

(「はい」との声あり)

(2) 議会活性化について

副委員長：10月18日の模擬議会が終わった後にリハーサルを行う、議会運営委員会を開くということとする。次に、議会活性化について、今後の取り組みなどを事務局に説明願う。

事務局長：特にこれということはないが、直近で集まる機会もあるが、何かそれまでの間に何かあればということで。

副委員長：皆さんから何かあれば。

川上委員：以前から話しているけれども、テーマがある程度決まっているので、それに基づいてスケジュールを立てて計画的にやらないと、ただばらばらやっても議論にならないので、スケジュール立てて、それも一応全員協議会で諮って、何年の何月までにここまで議論するということをきちんと示して、それに基づいて活性化は活性化で議運として今日は活性化のこのテーマについて議論するという形の持って行き方を進めないと、いつまでも進まない、形にならないということになると思うので、その辺を詰めていかないとならないと思う。

副委員長：スケジュールを決めて、活性化の議題も色々あるから、そういう部分も含めて取り組んでいくという意見であるがよろしいか。

山下議長：この間、全員協議会の中で桜井議員が芽室に行ってきた経過を聞きたいということだったので、復命書的なまとまったものができたら全員協議会で議員全員に配るという話をしたので、まとまった資料はできているのか。

事務局長：委員会として行っているので、委員会の報告書はある。

山下議長：まとまったものがあるので、同じように9月21日、議会活性化について研修した資料ということで配布するという進めたいと思う。

副委員長：暫時休憩する。

【休憩 11：09】

【再開 11：17】

副委員長：休憩前に引き続き会議を開く。議会活性化について他に何かあるか。

副委員長：川上委員が言われたようにスケジュールを決めるとか、色々なテーマの中に議会活性化の議題が入っている事が多いけれども、一回議会活性化だけについて話をしないとなかなか時間がかかる話だと思う。その時間をとった方が多岐にわたることが多いと思う。

事務局長：そう思う、今日も議運開いて集まっていたけども、色々な事を話さなければならぬとなると、どうしても時間の関係もあつてなかなか難しいので、スケジュール立てについて今日はそこを決めようという時間を設定していただいて、そこでお昼挟んでも、1日かけてでも決めるというようなことをしないと、なかなか進まないと思うので、そこはまた委員長含めて事前に調整していただいて、しっかり設定していただかないといつまでも決まらないということになってしまうと思う。

副委員長：議会活性化の今後の取り組みについて、テーマをそれだけに絞ってやっというところよろしいか。

(「はい」との声あり)

副委員長：他に議会活性化について何かないか。私から、議会活性化というか本会議で一

般質問があって、いつも質問する中で時間がある程度かかると思っていた川上議員が今回18分くらいで終わった。今回長かったといっても山本議員と鈴木議員が1時間くらいだったので、町民からもそういう声があるので、長いだけかというのはわからないでもないし、1時間と決めればできるのではないかと、今回の山本議員も最後の方は途中詰まったりして喋れなかったというところもあったので、1時間半を1時間にするのはどうかと、いいのではないかと思ったのだけでも、それは今後の議会活性化について話し合うということによろしいか。

山下議長：具体的に中身についてまだ決まっていないから、今、具体的に中身を話す場ではないので、それは次の具体的な中身になった時に話した方がいいと思う。

(3) その他

副委員長：次に、その他、事務局から説明願う。

事務局長：前回の全員協議会の中でも話が出た案件もあるが、1点目はウォームビズの関係で、今年も6月から9月までクールビズということで、ノーネクタイもいいという形でやっている。町の方ではウォームビズで年間通してノーネクタイ、仕事しやすい服装でということで行っている部分もあり、議会も10月以降同じように、議場でもノーネクタイでいいのかというところを、10月以降は検討するという事になっていたもので、その辺をお話いただければというのが1点目である。

副委員長：まず、ウォームビズの適用について、クールビズが6月から9月でウォームビズをやっていくかということである。

深沼委員：個人的には10月も同じような形でやったほうがいいと思う。最近10月に入ってもわりと暑かったりする部分があるので、視察とかに行く時は相手の方もいるので、その時にはネクタイを用意した方がいいと思うが、会議は私的には5月から10月までクールビズでいいと思う。

副委員長：ということは、5月から10月までやって11月から4月まではネクタイということか。

深沼委員：はい。

事務局長：町では年間を通じてと言っている。

川上委員：私は町の職員に合わせてやればよいと思う。年間通してノーネクタイという形で進めてよいと思う。

事務局長：今まで、クールビズ前は議場はネクタイ着用というのがあって、クールビズ適用になって着用しなくてもいいとなって、逆に着用していてもいいので、そこは例えば10月以降はしてもしなくてもということであるかどうかということになる。今もしていても外せということではないので。

中河委員：夏の間はクールビズと同じように、10月以降もウォームビズでやったらいいと思う。

副委員長：深沼委員が言われた研修とか視察とかの時の常識的なところというのか、そういう時には私はそうなのかと思ったところ。

山下議長：川上委員が言われたように、町に合わせてやるということで話をしていたので、町がどういう規定でやっているのか確認しながらそれに基づいてやるということで、そして視察に行く時にはどうするかという部分はまた別のものであって、このような会議については町に合わせてということでいいのではないかと。

副委員長：本会議と委員会はクールビズ、ウォームビズ、ノーネクタイで、それを強制するものではなく、ネクタイしてもいいということによろしいか。暫時休憩する。

【休憩 11：28】

【再開 11：29】

副委員長：休憩前に引き続き会議を開く。では、町に合わせて議会もクールビズ、ウォームビズをやっていくということで。

事務局長：議運としてはそういう方向で、全員協議会の時に皆さんに諮るということによろしいか。

副委員長：それでは、21日の全員協議会でということにしたいと思う。次に、所管事務調査の申し出事項への議会活性化の記載について、事務局から説明願う。

事務局長：鈴木議員から、所管事務調査の申し出は各委員会から最終日に申し出があるが、議運のところには議運として所管している事項、議会の運営に関する事項と議長から諮問を受けた事項というように、大きくりのことを書いてある。その中で議会活性化も含まれるので、特に他の委員会のように何々についてという具体的な項目をあげないで議会活性化もやってきたけれども、鈴木議員のこの間の発言から

すると、何々についてというところに議会活性化についてと項目をあげたらよいのではという発言だったと思うが、それでよろしいか。

川上委員：一応、テーマがテーマなので、きちんと載せてやるという方がいいと思う。今までの議運の中身と違うので、議長が諮問するということになるのかどうなのか、その辺がわからないけれども。ただ、全員協議会の中では前回の引継ぎの中から議運で取り組むという話になっているので、明確に所管事務調査の中に載せた方がいいと思う。

事務局長：議会活性化の議論が始まっているけれども、言ってみればずっと同じ載せ方である。議会最終日に議運と広報については特に変わるものがないので。他の2つの常任委員会についてはやるのが具体的に決まるので、例えば地域おこし協力隊についてなど、具体のものを入れて、その他も突発的なものができなくなるのであるけれども、そういうことで進んでいるので、議運については今までどおり同じ載せ方できている。なので、具体的にテーマを具体たてて進んでいるのであれば載せてもいいと思うし、そこは皆さんの判断だと思う。

深沼委員：実際、載せた方が、今何やっているのかわかりやすい気がする。だから、他の委員会と同じ形で載せた方がいいと思う。

中河委員：ずっと議会活性化というのは議題の中にあると思ってやっていたけれども、他のことに流されるとそれも忘れることもあるので、載せるともう少し具体的に話し合いのテーブルにのるので、載せた方がいいと思う。

副委員長：全員載せた方がいいということなので、載せるということではよろしいか。

（「はい」との声あり）

副委員長：それではその方向で。

事務局長：それでは最終日に各委員会から所管事務調査の申し出が出てくるので、議運のところには議会活性化についてというのを具体に出して、何かあった時に対応できるように他の部分は残しておく。今後、しばらくは同じように載せるということではよろしいか。

副委員長：その他、皆さんから何かあるか。

川上委員：1点だけ、今回の決算審査の関係けれども、ちょっとやっぱり議長の進め方が今までと違って、決算というのはきちんと検証する、今回で言えば令和4年度

の決算によって、事業がどのような形で進められたか、それを更に今後の予算に結びつけるためにどう考えているか、今後どうするかということを議論しないと、本来の決算の意味がなくなってしまうので、今回の進め方は今までと違って、本来の決算審査から外れるのではないかと思う。そういう部分をちょっと今回はそういうことが見られたということで私の方から意見させていただいた。

山下議長：今回の審査から外れているという、進め方から外れているという話だったけれども、今までも同じような流れではやっていた。ただ、それぞれは個人個人の捉え方によってやっているけれども、決算審査の進め方については今までも同じような扱いでずっと踏襲してきたという形だから、それを特に私になってから整理しているという部分では全然ない。加来さんがやっていた時もきちっとそれについてはということ saying だったので、これは本来から外れているという部分ではないということを押さえてもらえれば。

川上委員：ただ、やっぱり今後どうするかという事が基本である。決算を、結果を今後活かしていくかということ with 話をしていく時に、それは予算だとか、また別の話でと なったら決算審査の意味がなくなってしまう。今回そういう話がちょっと多かった。今まではそういう話していたはずである、決算の意味はそういうことだから、これは議会の基本だから、個々の考え方とかいうことではなくて、やはりきちんと決算というのは、いわゆる事業をどのように行ってその結果どういふ結果になって、それをじゃあ課題があれば今度どう考えて、どうつなげていくのかということ を議論していかないと、決算審査の意味がなくなってしまうという部分では、まあ、これ以上は言わないけれども、ちょっとそういう懸念が今回出たかな、あったかなと、そうしたら話できなくなる。ただ、4年度どうだったと聞いてそうですかで終わってしまったら、終わった事話しても仕方がないという形になってしまって、次に質問できなくなってしまう。だから、ちょっとそういうように今回感じたので、ちょっと進め方としては問題でなかったかなと私は思う。まあ、これ以上はもう言わない。

山下議長：議案の扱いとしては今までどおり同じような扱いで、決算の決議、決算の効果というものはあったかどうかという判断のもとで認定するしない、未来に関わる部分については、一般質問なり討論の中で、こういった部分が今後どうなっていくのか心配だとか、討論の中で話してもらえる部分は、決算の質疑としては、今までの流れの中でやっているのだから。議案の扱いとして認定するかしないかだから、それが次どうやっていくのか見えないなら認定しないというようになるのか。

川上委員：そういうものではないと思う。

山下議長：事務局の見解をお願いします。

事務局長：そこの流れというのは変わってなくて、議長が話していたとおり、決算なのでいわゆる、要望とかお願いという部分になってくると、そこはしないでくださいという流れで今までも来ていたが、ただ、それをどの程度議長が言うのかという部分は議長の裁量の部分もあるので、特別今回厳しくしたとかしなかったとかいう話ではなくて、決算の流れとしては、いわゆる要望やこうしたらいいのではないかと、こうすべきではというところではなくて、決算の結果としての中身について審議していただきたいという方向性については変わっていない、事務局がどうするということではないと押さえている。

只野副委員長：こういう話し合いは今までなかったような感じであるけれども、やはり個々の言い合いを言う場面ではなく、やはり流れを見ていると委員長が許可して

から話すというのが大事な事だと思うので、不慣れではあるけれども従っていただきたいと思うのでよろしく願います。今の件に関しては、今ここで結論というわけではないだろうし、議運で決めるのかということについてもまだ私もわからないけれども、議員全体でということになっていくのかなとも思うので、もし、他の議員でこのことについて意見があれば手を挙げて言っていただきたい。今後そのことについては色々と議論するところはあると思うけれども、時間をとって正式にやるのであればもう少し話す場面でもあるし、見ていると議長に言うということの方が多く感じまして、こういうところで話すというのがなかなかないのかなということで、今後話が出れば議題にもあがって正式に話すという方向の方がいいのではないかと、その他にしては議論を深める部分ではないのかなと思うので、どういようにこの議題をあげるのかというのは難しいけれども、そういう議題をあげてという方法がいいのではないかとと思うが。

川上委員：ただ、大事な事なので、これ議会の運営で、議運でやっぱりきちんと話さないとならないと思う。そういう部分で今回ちょっと私ももっと質問したかったけれども、それで大分セーブした部分ある。例えば、敬老会は今後どうするのかという話、今この場で話すことではないと言われてしまったら、議論のしようがない、じゃあ新年度にどうつなげていくかという話にならなくなってしまう。そういう部分では、進め方についてちょっと今回は問題があったのではないかと私は思った。

山下議長：進め方に問題があったと言われたけれども、何回も繰り返すようだけれども、決算の審議の仕方、認定の仕方、審議にあたっての進め方を今までどおりやっていたという押さえでいる。それをどう感じるか感じないかは議員個々にあると思うけれども。

只野副委員長：それではその他何かあるか。

(「なし」との声あり)

只野副委員長：なければこれで議会運営委員会を終了する。

【閉会 11：47】